

平成 27 年度 「基礎・基本」定着状況調査(中学校)

国 語

平均通過率

市 72.2%
県 (73.6%)

※ () 内は県平均
を表します。

領域等の定着状況

<タイプⅠ 基本問題>

【タイプⅠ】 76.0% (75.7%)

【聞 く こと】 93.7% (93.3%)

【書 く こと】 52.1% (55.4%)

【読 む こと】 52.4% (54.1%)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 85.2% (83.6%)

<タイプⅡ 活用問題>

【タイプⅡ】 57.3% (64.8%)

○タイプⅠ (基本問題)

通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 小3漢字の読み
(設問三1①) 97.9% (94.3%)
- 文語のきまり
(設問二②) 95.1% (94.5%)
- 話合いの方向性を捉える
(設問一2) 94.4% (94.3%)

通過率 60%未満の設問

- 登場人物の心情の把握
(設問三5(2)) 17.5% (19.4%)
- 叙述の仕方の確認
(設問四2) 30.8% (34.3%)
- 登場人物の心情の把握
(設問三5(1)) 49.0% (52.4%)

○タイプⅡ (活用問題)

通過率 60%以上の設問

- 要旨の把握
(設問五3) 93.0% (91.0%)
- 資料の引用
(設問五1) 73.4% (76.1%)

通過率 60%未満の設問

- 情報の取り出し・根拠を明確にした記述
(設問五2) 27.3% (33.8%)
- 情報の取り出し・伝えたい事実を明確にした記述
(設問五4) 35.7% (58.5%)

結果から考える

○考察

平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられますが、県の平均通過率を0.6ポイント下回っています。

○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、領域の中で60%を下回っている「書くこと」及び「読むこと」に関する指導です。特に「読むこと」において、場面の展開に即して変化する気持ちを読み取らせる指導や、手がかりとなる叙述に基づいて、生徒同士で読み取ったことを交流させる指導を行う必要があります。

また、タイプⅡにおいて、根拠や事実に基づいて自分の考えを記述させる指導を充実させる必要があります。

平成 27 年度 「基礎・基本」定着状況調査(中学校)

数 学

平均通過率

市 70.9%
県 (70.4%)

※ () 内は県平均
を表します。

領域等の定着状況

<タイプⅠ 基本問題>

【タイプⅠ】 75.1% (74.2%)
【数と式】 82.5% (81.2%)
【図形】 75.1% (71.2%)
【関数】 68.2% (69.4%)
【資料の活用】 45.1% (48.9%)

<タイプⅡ 活用問題>

【タイプⅡ】 56.5% (57.2%)

○タイプⅠ (基本問題)

通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 四則の計算
(設問 1 (2)) 93.7% (90.2%)
- 小数の減法
(設問 1 (1)) 91.6% (91.8%)
- 分数の除法
(設問 1 (3)) 90.9% (85.6%)

通過率 60%未満の設問

- 中央値の意味
(設問 7 (1)) 23.1% (34.2%)
- グラフ上の点
(設問 6 (2)) 55.9% (56.8%)

○タイプⅡ (活用問題)

通過率 60%以上の設問

- 情報の適切な選択と判断
(設問 9 (1)) 95.8% (94.0%)
- 数学的な表現を用いた説明
(設問 9 (2)) 69.2% (62.4%)

通過率 60%未満の設問

- 比例のグラフの理解
(設問 11(1)) 31.5% (40.3%)
- 問題解決の方法
(設問 11(2)) 38.5% (46.3%)
- 情報の適切な選択
(設問 10) 47.6% (42.9%)

○考察

平均通過率が 60%を超え、県の平均通過率より 0.5 ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、領域の中で 60%を下回っている「資料の活用」に関する指導です。「資料の活用」については、資料や度数分布表から代表値を求め、それらを活用させる指導を行う必要があります。

また、タイプⅡにおいて、具体的な事象を数学的な解釈に基づいて考察させ、事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明させたりする指導を充実させる必要があります。

平成 27 年度 「基礎・基本」定着状況調査(中学校)

理科

平均通過率

市 48.7%
県 (50.2%)

※ () 内は県平均
を表します。

領域等の定着状況

<タイプⅠ 基本問題>

【タイプⅠ】 49.9% (51.0%)

【生物】 35.9% (36.1%)

【化学】 72.3% (72.5%)

【物理】 41.7% (41.6%)

【地学】 49.9% (53.8%)

<タイプⅡ 活用問題>

【タイプⅡ】 46.8% (49.1%)

○タイプⅠ (基本問題)

通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 気体の捕集方法
(設問1(1)) 86.0% (79.3%)
- ロウの状態変化
(設問2(1)) 75.5% (76.1%)
- 光合成が行われる部分
(設問4(3)) 68.5% (65.0%)

通過率 60%未満の設問(下位3問)

- 裸子植物と被子植物の花の違い
(設問3(1)) 6.3% (7.4%)
- 露頭の観察の仕方
(設問8(1)) 26.6% (28.1%)
- 顕微鏡の使い方の手順
(設問3(2)) 32.9% (36.0%)

○タイプⅡ (活用問題)

通過率 60%以上の設問

- 凸レンズを通った光の進み方
(設問5(2)) 69.9% (66.6%)
- 実験結果をもとに考察する
(設問2(2)) 60.8% (57.8%)

通過率 60%未満の設問(下位3問)

- 圧力に関する身近な現象
(設問6(3)) 14.0% (19.6%)
- 露頭から分かる地形の変化
(設問8(3)) 35.7% (40.9%)
- 火成岩のつくりの違いとでき方
(設問7(1)) 40.6% (45.5%)

結果から見えること

○考察

平均通過率が60%を下回っており、県の平均通過率より1.5ポイント下回っていることから、基礎的・基本的な学習の定着に課題があります。

○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、領域の中で60%を下回っている「生物」、「物理」、「化学」に関する指導です。特に、目的意識を持った観察、実験を行い、結果を整理させるなどして観察、実験の技能の定着を図る指導が必要です。

また、タイプⅡにおいて、理科で学習した知識・技能に関連した自然の事物・現象や科学技術などについて、考えたり説明させたりする指導を充実させる必要があります。

平成 27 年度「基礎・基本」定着状況調査(中学校)

英 語

平均通過率

市 66.4%
県 (68.2%)

※ () 内は県平均
を表します。

領域等の定着状況

<タイプⅠ 基本問題>

【タイプⅠ】 69.5% (70.2%)

【聞くこと】 66.9% (73.0%)

【読むこと】 79.2% (76.4%)

【書くこと】 59.0% (60.3%)

【話すこと】 77.6% (74.4%)

<タイプⅡ 活用問題>

【タイプⅡ】 54.4% (60.6%)

○タイプⅠ (基本問題)

通過率 60%以上の設問(上位3問)

- コミュニケーションへの積極性、コミュニケーションの継続
(実技 関・意・態) 97.9% (98.1%)
- 自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話すこと
(実技 4) 96.5% (96.0%)
- リスニング問題 (概要や要点の把握)
(設問 3) 2) 94.4% (89.5%)

通過率 60%未満の設問(下位3問)

- リスニング問題 (英語での問いかけに対する適切な応答)
(設問 1) 2) 24.5% (39.2%)
- 基本的な文のきまりを理解した作文
(設問 5) 2) 25.9% (39.3%)
- 自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す
(実技 3) 28.0% (35.8%)

○タイプⅡ (活用問題)

通過率 60%以上の設問

- 根拠となる英文の読み取り
(設問 11) 2) 64.3% (72.5%)
- 情報を基にした概要や要点の理解
(設問 11) 1) 60.1% (62.2%)

通過率 60%未満の設問(下位3問)

- まとまりのある一貫した英語の文章を書く
(設問 12) 3) 39.2% (45.4%)
- 文と文のつながりなどに注意して、疑問詞を用いた質問を書く
(設問 12) 2) 50.3% (58.5%)
- 適切な質問を考え英文を書く
(設問 11) 3) 53.8% (64.5%)

結果から考える

○考察

平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられますが、県の平均通過率を1.8ポイント下回っています。

○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、領域の中で60%を下回っている「書くこと」に関する指導です。特に、話と話のつながりに注意させて適切な語を用いて正しく文を書かせる指導が必要です。

また、タイプⅡにおいて、文と文のつながりなどに注意して、疑問詞を用いた質問を書かせる指導や、内容的にまとまりのある一貫した英文を書かせる指導を充実させる必要があります。